

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	理工学部	身分	教授
氏名	山西 博之		
NAME	YAMANISHI, Hiroyuki		

1. 研究課題

（和文）大学生の英語ライティングにおける協働性と相同性：知見の統合と分析システムの整備

（英文） Collaborative and Homologous Aspects of University Students' English Writing

2. 研究期間

2019・2020・2021 年度 ※2021 年度は新型コロナウイルス感染症特例対応により 1 年間延長

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

（和文）

本研究課題では、大学生が産出する英語ライティングにおける、協働性（学習者同士の「対等」「対話」「創造」「プロセス」「互惠性」を内包する概念）と相同性（「思考の過程」としての作文プロセスと「成果物」としての作文プロダクトの間の言語構造等の構造的並行性、あるいは同一テーマの課題における「思考言語」としての日本語と「目標言語」である英語でのライティングにおける構造的並行性）の分析を行うため、データ収集・データ収集のためのシステム開発・データ分析を行った。

1年目の2019年度は、開発したWebシステムによって、上記の分析を行うための新規のデータ収集を進めた。具体的には、中央大学理工学部の英語ライティング科目を担当しながら、学生からWebシステムを通じたライティングデータの提供を受けることで、これまで収集してきたものとは異なる観点のデータ（ライティングテーマ、学生のバックグラウンド等）を得る事ができた。

2年目の2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で新規のデータ収集が計画通りに進まなかったため、2021年度に研究期間を延長し、継続してデータ収集を行うと同時に上記観点からのデータの分析を進めた。得られた成果は、研究期間終了後に学術誌にて公開する予定である。

（英文）

In this research project, I developed a system for data collection and data analysis in order to analyze collaboration and homology in English writing produced by university students. In AY 2019, I proceeded to collect new data for the above analysis by means of the web system developed. In AY 2020 and 2021, I continued data collection, and I analyzed data from the above perspective.